

学校教育目標

- 自ら考え行動する生徒
- 思いやりのある心豊かな生徒
- 心身ともにたくましい生徒

目指す学校像(ビジョン)

- 『生徒一人一人が輝き、さわやかで気持ちのいい学校』づくりを目指す
- 「主体的課題解決力」の育成・・・主体的・対話的で深い学びを通して、自ら考え行動できる生徒を育成する。
- 「道徳的実践力」の育成・・・人権教育及び道徳教育を重視し、思いやりがあり心豊かな生徒を育成する。
- 「創造的行動力」の育成・・・学校行事・部活動・キャリア教育等を通して、心身ともにたくましい生徒を育成する。

本校の現状と課題

- 現状：生徒は、素直で素朴で生活面の乱れもなく、学校生活は落ち着いている。保護者は、学校に対して協力的で、PTAや地域学校協働本部の活動が活発である。
- 課題：
 - ・魅力ある学校づくり（授業力の向上、確かな学力の定着、配慮を要する生徒への特別な支援）
 - ・特別支援教育の充実（研究推進校としての取組の推進、校内通級教室拠点校としての取組、指導スキルの向上）
 - ・地域と連携した学校づくり（地域学校協働本部の活用と連携、土曜学習部の運営、各種検定の実施）

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標 ※ 数値目標が可能な項目について設定する
学力向上	学習意欲を喚起し、確かな学力の定着を図り、主体的に探究し課題を解決する力を養う。	授業規律を確立し、基礎的・基本的事項の確実な定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・チャムで始業し、提出物・忘れ物・私語厳禁等の指導を徹底し、授業規律を確立する。 ・地域人材を活用し、定期考査前自習教室、土曜学習部を開催する。 ・少人数・習熟度別指導（数学、英語）、読書月間、漢字検定・英語検定等を活用する。 ・朝読書の時間を確保し、読書活動の充実を図るとともに、落ち着きある学習環境を構築する。 	少人数・習熟度別指導（全学年数学・英語）、読書月間（年2回）、定期考査前自習教室（年7回）、土曜学習部（年20回）、漢字検定（年3回）、英語検定（年3回）、朝読書（毎日10分） 校内研修会（特別支援教育）、授業改善推進プラン（1学期）、授業評価アンケート（年2回）、保護者授業アンケート（通年）
		教員の指導力の向上を図り、生徒一人一人の学習意欲を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種検査を基にした「授業改善推進プラン」を作成し、授業改善へ繋げる。 ・校内研修会により授業力の向上を図る。 ・国、都、市の学力調査の結果や生徒による授業評価アンケートを実施し、指導上の課題を明確にして指導力の向上を図る。 ・学校公開とその際の保護者アンケートを活用し、授業を見直す機会とする。 	
健全育成	生活指導・進路指導・安全指導の充実を図り、豊かな心を持ち、自他を尊重し道徳的な行動ができる力を養う。	基本的な生活習慣を定着させるとともに、関係機関等と連携し、いじめ防止の徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・始業時に全教員による校内巡回および教室整備を実施する。 ・いじめ対策委員会を開催し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を図る。 ・問題行動に対して、関係諸機関と連携し、ケース会議等を迅速に実施する。 ・特別支援COやSCと連携した、きめ細やかな教育相談を展開する。 	全教員による巡回指導（毎朝・通年）、あいさつ運動（毎週月、年2回週間）、SNS学校ルール策定（5月）、いじめ対策委員会（週1回）、SC全員面接（全学年・年1回）
		発達段階に応じ、系統的・計画的なキャリア教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間の指導内容を精査し、3年間を見通した指導計画を作成する。 ・1年の職業調べ、2年の職場体験、3年の進路選択と系統的・発展的に実施する。 ・体験活動等でのマナー指導、礼状書き等の事後指導を、外部講師を活用しながら計画的に実施し、学習発表会で発表する。 	
健康・体力づくり	特別支援教育や食育等の充実を図り、心身ともに健康で、持続可能な社会づくりに貢献できる力を養う。	特別支援教育の充実を図るとともに、一校一取組運動や部活動等により、体力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援COを中心とした特別支援教育校内委員会により、生徒個々の支援方法を検討する。 ・通級指導教員や特別支援教室専門員等の意見を参考に、個に応じた指導・支援を行う。 ・オリンピック・パラリンピック教育推進校として、オリンピアによる講演会を実施する。 ・全教科内でオリパラに関する授業を実施する。 ・部活動、水泳教室、体力向上週間での持久走の実施により、運動量を確保する。 	特別支援教育校内委員会（週1回）、オリパラ講演会（年1回）、教科におけるオリパラ教育（年35時間）、薬剤師による喫煙・薬物乱用防止教室（各1回）、部活動加入率（95%以上）、水泳教室（夏季休業中5日）、持久走（5日）
		薬物乱用防止教育、食育等を充実させ、健康増進、食物アレルギー事故防止の意識啓発を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙・薬物乱用防止教室を実施する。 ・食育、保健指導のほか、生徒会活動（保健委員会・給食委員会等）を通して、健康増進や食物アレルギー事故防止に対する教員・生徒・保護者の意識を啓発する。 	
保護者・地域との連携	保護者・地域との連携を深め、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。	保護者、地域の小学校、地域の健全育成団体等との連携をより一層深め、学校への協力体制を構築する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育懇談会、小学生による中学校訪問、小学生対象の地域行事への教員と中学生の参加、小・中教員による合同研修会、中学生による小学生へのダンス発表を実施する。 ・ホームページや学校だよりにより、学校情報を外部へ発信する。健全育成地区委員会やまちづくり協議会で学校だよりを配布し、学校の様子を伝える。 	小学生による中学校訪問（6月）、ミドリンキャンプへの教員と中学生参加（30名）、中学生による小学生へのダンス発表（10月）、健全育成地区委員会（月1回）、まちづくり協議会（月1回）
特色ある教育活動	地域人材を活用した学習支援等により、地域・保護者が一丸となった学校づくりを目指す。 学校行事等の体験的な活動を通して、創造力を育み、自己有用感を育む。	地域学校協働本部との連携・協力を通して、ボランティアによる学習支援や学習教室を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員（各回3名程度）と学生・シニアボランティアによる土曜学習部（国語・数学・英語）を実施する。 	土曜学習部（年20回）、土曜学習部の参加生徒が「学力向上に役立った」と思う割合90%以上 体育祭（5月）、修学旅行（6月）、ミドリンキャンプ（7月/1泊2日）、合唱コンクール（10月）学習発表会・作品展（1月）、移動教室（1
		学校行事等のねらいを明確にし、一層の充実を図り、生徒一人一人が活躍できる場面	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭、学習発表会（ダンスオーディション）、合唱コンクール、校外学習、移動教室、修学旅行等を通して、生徒の自主的な活動を充実させるとともに、一人一役は必ず与える。 また、地域のキャンプ（ミドリンキャンプ）など各種地域行事へ参加協力する。 	

一

を与える。

月)